

## 第28回 もも脳ネット 理事会（コアメンバー会議） 議事録

日 時：平成29年5月16日（火）19：00～20：00

場 所：川崎医科大学総合医療センター 5階カンファレンス室1

出席者：岡山医療センター（奈良井医師 今川 MSW）

岡山赤十字病院（岩永医師 西本医師 高木医師 開原 MSW 中野 MSW 尾上事務  
国安事務 岩本事務）

岡山ろうさい病院（片山医師 内田 MSW）

岡山市民病院（出口医師 梅田看護師）

岡山中央病院（平野医師）

岡山中央奉還町病院（小林医師 古田 MSW）

岡山光南病院（宮森医師 土手医師 松井 Ns 西村 MSW 平川 MSW）

岡山リハビリテーション病院（森田医師 盛谷 MSW 森 MSW）

済生会吉備病院（難波医師）

岡山協立病院（藤井 PT）

津山第一病院（万代 PT 横山事務）

こうなんクリニック（西崎医師）

氏平医院（氏平医師）

岡山旭東病院（野間 OT）

川崎医科総合医療センター（井上医師 鈴木 MSW 富田 MSW 潮 MSW  
橋本 MSW 川上 MSW）

岡山市歯科医師会（角谷医師）

都窪歯科医師会（山本医師）

岡山県介護支援専門員協会（堀部会長 丸田 CM）

備前保健所保健課地域保健班（二宮所長 大野課長）

計 19 施設 48 名（敬省略・順不同）

### 議 事

#### 1. もも脳ネット通信について

- 川崎医科大学総合医療センター（井上医師）より下記報告があった。
  - ・ 大森医師（金川病院）が主で行っており、内容については検討中である。
  - ・ 川崎医科大学総合医療センターでは、以前配布されたもも脳ネット通信を脳卒中連携パスのファイルの中に入れて、患者さんに配っている。患者さんが作成したものなので、多くの患者さんに読んでもらいたいと思っており、各医療機関でも患者さんに見てもらえるような取り組みをしてもらいたい。

#### 2. もも脳ネット連携フォーラム報告

- 川崎医科大学総合医療センター（井上医師）より下記報告があった。
  - ・ 平成29年2月19日（日）、平成29年3月18日（土）岡山イオンモールにて開催されたもも脳ネット連携フォーラムでは、1部の参加者は看護師が多く、2部は医療ソーシャルワーカーの参加が多かった。また、病院・診療所の医師の参加は20名程度あった。
  - ・ アンケートの結果は、参加者は7割が医療機関であった。地域は岡山市北区が多かった。職種は看護師、

医療ソーシャルワーカーが多かった。

- ・ もも脳ネット参加機関が大半であったが、25%は参加していない機関の参加があった。
- ・ 第1部の感想としては、満足という回答が多かった。第2部の感想は時間が短かったや在宅機関の話をもう少し聞きたかった等の意見があった。フォーラム全体の感想としては、地域をもう少し絞ってもよかった、会場はもう少し小さなおところでもよかった等の意見があったが、おおむね良かったとの評価が多かった。

### 3. 脳卒中地域連携普及推進強化事業について

- 岡山赤十字病院（岩永医師）より下記報告があった。
  - ・ 岡山県よりもも脳ネットが委託を受け、岡山赤十字病院が中心となり事業を進めていく予定である。
  - ・ 昨年度は連携パスの改定が必要であったが、次回の改定は来年度の診療報酬の改定に合わせて必要時行うようになるため、今年度は必要ない事業だと考えている。そのため今年度は昨年度と同様に地域連携強化の研修を中心に事業を行っていく予定である。
  - ・ 昨年度の委託内容としては脳卒中地域医療、介護サービスの提供体制の一体化を目指して、在宅医療・介護の関係者の多職種連携強化と連携パスの普及促進を図るというものであった。委託内容に沿って考えると、患者さんや介護側に一番近いのはケアマネジャーであるので、ケアマネジャーと一緒に連携のための研修会を行いたいと考えている。回復期に所属している医師たちは、ケアマネジャーは近い存在であると思われるが、急性期に所属している医師としては、なかなか密接な関係になりにくい。医師のみでなく病院スタッフもケアマネジャーが主体となって動いているということを実感しにくいと思う。この機会に交流が図れるようにしていきたいため、介護支援専門員協会と一緒に取り組んでいきたいと考えている。
  - ・ 備前県民局からの依頼としては、所管を地域対象に行ってもらいたいというものであった。対象地域としては、岡山市内、瀬戸内市、備前市、赤磐市、和気町、玉野市、吉備中央町と考えている。内容は、もも脳ネットが行っている脳卒中、大腿骨頸部骨折についての取り組みのうち、急性期病院の対応方法や、急性期病院から回復期病院に行き、その後どのような過程で自宅退院を目指していくかについてレクチャー形式で行って行きたいと考えている。必ずしも参加者が医療職ばかりではないため、レクチャーの内容を一般市民向けで構成していきたいと考えている。また、お互いの病院機能を理解するために、自身の病院の特徴や取り組みを発表する時間を設けてもよいと考えている。
  - ・ 開催の曜日や時間については、前回の研修会の際に勤務時間内での開催の方が参加しやすいという意見があった。そのため、平日の9時から17時での開催が望ましいと思われる。一方で市民公開講座を同時開催するのであれば、平日だと一般市民の方が集まりにくいので、市民公開講座は休日だと考えている。今後の進め方については、理事会等で意見を聞きながら決めて行きたいと考えている。
- 理事より下記意見あり。
  - ・ ケアマネジャーに対象を限定にするのではなく、介護職や看護職も含めて研修を行ってもらいたい。
  - ・ 対象を医療職、介護職に限定せず、市民向けにも講習会を行ってもらいたい。
  - ・ 医療側から介護側に生活に関するアドバイスができるような研修会を開催してもらいたい。
  - ・ 対象地域をどうしていくか。各市町村単位で行うのか、岡山市内も区ごとにわかる検討が必要である。
  - ・ 講演を行う医師を、もも脳ネット理事に入っている医師のみが行うのか、それとも理事以外の医師にも依頼していくのか検討が必要。
  - ・ ケアマネジャーが参加するとなると、主婦の方もいるため平日の9時から17時の方が参加率は上がると

思うが逆に介護職や訪問看護の方の参加を考えると、平日の 9 時から 17 時であればケア等と重なり参加が難しい。対象者を再度検討し開催日時を決めて行く方がいいと考える。

- 岡山赤十字病院（岩永医師）より上記提案をふまえて下記意見があった。
  - ・ 引き続き研修会の内容について検討を行っていくため、意見があれば頂きたい。次回の理事会までには日程などを決定していき、レクチャーを依頼していく医師に声掛けを行っていく予定である。

#### 4. 市民への出張講座について

- 川崎医科大学総合医療センター（井上医師）より下記報告があった。
  - ・ 備前県民局より、市町村単位で市民向けに講座を行ってほしいとの依頼があった。講師については、もも脳ネットに所属している理事の先生に協力をお願いしたい。対象は市民のみではなく医療、介護関係者になるため各市町村の医療機関も巻き込んでいきたいと思っている。
- 備前保健所（二宮所長）より下記報告があった。
  - ・ 岡山市消防局からもらったデータを基に、岡山市の救急搬送状況についての報告を行う。  
t-pA 治療を積極的に行っている医療機関、t-pA 治療は行っていないが脳卒中治療を行っている、平日の日中のみ脳卒中治療の対応を行っている医療機関に分類して集計を行っている。搬送時には脳卒中とわかっていない症例が多く、脳卒中治療を専門的に行っていない医療機関に搬送される例も多くある。メディカルコントロールケア会議で、どのような経路で紹介に至っているのか確認を行う予定である。
  - ・ 連携パスの利用については、急性期から回復期、維持期に行く際に連携パスがないケースもあると思われるため、回復期や維持期の医療機関の意見も聞きたいと思う。パスの作成率についても高い医療機関と低い医療機関の差が大きい。診療報酬の算定の有無に関わらず必要な情報提供を行う手段として、積極的に連携パスを利用してほしい。

#### 【今後の会議日程】

- ・ 第 47 回 運用総会  
日時：平成 29 年 6 月 27 日（火）19：00  
場所：岡山医療センター  
幹事：岡山リハビリテーション病院
- ・ 第 29 回 理事会  
日時：平成 29 年 8 月 15 日（火）19：00  
場所：川崎医科大学総合医療センター カンファレンス室 1

（書記 川崎医科大学総合医療センター：潮）